

## 二分の一成人式

11月8日(火)に「二分の一成人式」を実施しました。4年生一人一人が、学校運営協議会の青山会長様から二分の一成人証書を受け取り、「10歳の言葉」として、全体の場で、自分の夢と夢実現のための努力を語りました。その後、保護者が、4年生に今までの成長に対する思いを述べ、全校児童がお祝いの言葉を述べました。最後には、6年生の祝い太鼓「隼」で締めくくりました。とても感動的な式になりました。



## 秋の遠足・スキー教室

11月2日に1～4年生が小正西古墳公園に、5・6年生がサンビレッジ茜のスキー教室に行きました。小正西古墳公園までは約3kmの道のりを歩きました。昼ごはんの後は、遊具で遊ぶなど、思い思いに楽しく過ごしました。スキー教室では、6年生は昨年度の体験を思い出し、全長280mのゲレンデを颯爽と滑りました。5年生もすぐに慣れ、スイスイ滑ることができました。天気に恵まれ、楽しい一日を過ごすことができました。



## いづか小学生の討論会

11月20日(日)、颯田交流センター別館(旧サンシャインかいた)で「第29回いづか小学生の討論会」が開催され、市内20小学校の代表20人が出場しました。本校は、6年生が代表として出場しました。

『「コロナ禍で思うこと」～我慢や制限の中で学んだこと～』をテーマに、「学校生活(行事や授業)や家庭生活中で学んだことや大切だと思ったこと」や「コロナ禍で自分はどうか過ごしていくべきか」など、児童たちが考える「With コロナに向けた対応」について熱い討論を繰り広げました。



まず、出場者全員が「コロナ禍で思うこと」についての意見を発表しました。(発表内容は裏面に掲載)

次に、テーマについて討論しました。「互いに思いを伝え合うことが大切。マスクをしていても伝わるし、相手の思っていることもわかる。」とコミュニケーションの大切さや「コロナ禍で対策をするのは大切。中学生になるので、できることを探し、できないのはなぜかを考え、後悔しないようにしたい。」と新たな生活様式に適應するとともに、工夫を重ねながら豊かな暮らしを追究していくことの必要性について主張しました。

最後に、「改めて友達の大切さに気付くことができた。みんなの前で堂々と発表する力を付けることができた。この経験を生活に生かしたい。」と感想を述べ、締めくくりました。

## 友達いっぱい集会

11月16日(水)に友達いっぱい集会の学年発表のビデオ撮影を行いました。1・2年生は、合同で1年生の国語の教科書に載っている物語文「スイミー」の劇をしました。3年生は、「ゆかいなまきば」と「ありがとうの歌」を歌いました。4年生は、車いす操作の体験などの福祉体験学習で学んだことを発表しました。5・6年生は、合同で高田っ子太鼓の紹介をしました。11月28日(月)に撮影した発表を各教室で視聴しました。友達いっぱい集会を通して、優しい心を持って自分や友達を大切にしていこうと気持ちを新にしました。



## 12月、1月 主な行事予定

12/ 1 学校安全の日	1/10 始業式、学校安全の日
12/ 2 持久走大会③④、P青学合同会	1/11 家庭の約束・宿題バッチリ週間（～17日） 給食開始、委員会活動⑥
12/ 7 4年県チャレンジテスト	1/15 ほうけんぎょ（配食なし）
12/12 学校生活アンケート	1/16 振替休日
12/13 餅つき（6年のみ）	1/20 学校安全の日
12/15 オンライン英会話5年②6年③	1/23 学校生活アンケート
12/20 学校安全の日	1/19 標準学力調査（国語）
12/21 個人懇談会	1/20 標準学力調査（算数）
12/22 個人懇談会、給食終了、 オンライン英会話5年③6年④	1/27 児童会役員選挙
12/23 終業式	

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用された場合等、予定していた行事の内容変更、中止または延期します。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

### 心をつなぐために

「皆さん、明日からしばらく学校はお休みです。」小学校3年生の3月、担任の先生の突然の言葉で私たちの学校生活は大きく変わってしまいました。あれから二年半が過ぎようとしています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、制限の多い学校生活ですが、私がこの間に学んだことは、「言葉によるコミュニケーションの大切さ」です。

コロナ禍のマスク生活では、相手の目元しか見えません。すると表情がわかりづらいために、相手の気持ちを理解するのが難しいことがあります。私はこの夏、運動会の応援合戦の話し合いをした時、相手の表情がわかりづらいために、お互いの思いが伝わらず喧嘩になり悲しい思いをしました。だから、それからはお互いの気持ちや考えをできるだけ言葉で伝え合い、理解するように心がけました。その結果、練習を重ねるごとにお互いの気持ちが通じ合い、心につながりが深まっていくことを実感できるようになりました。運動会当日は応援合戦の成功の喜びはもちろんのこと、仲間としてのつながりを深めることができた喜びも感じることができました。

まだまだマスク生活が続く中、目元の表情だけでは相手の心までを理解することはとても難しいと思います。来年の四月には私も中学生になり、新しい友だちも増えることでしょう。だからこそ、自分の思いを言葉で丁寧に伝え、相手の思いもたくさん聴いて心と心をつなぐりを深めていきたいと思っています。

### わが町通信

## ブドウの育て方 高田小児童学ぶ

【飯塚市】「おいしいブドウの育て方」を学ぼうと、高田小3年の13人が舎利蔵の「谷口ぶどう園」を見学しました。写真。

児童らは、園を営む谷口一峰さんに栽培方法を教わった後、質問したり、持参したタブレット端末で房や



木の写真を撮ったりしました。江口哲平さんは「ブドウの木が25センチも伸びると聞いてびっくりした」と話していました。見学したのは9月28日。今後は学習した内容を基に、ブドウをPRするチラシを制作し、園に掲示してもらう予定です。

筑豊

筑豊総局